

## 第2回 樹木の腐朽等への対応に関する検討委員会 議事概要

### ■検討委員会概要

日時：令和3年10月28日(金) 10:00~12:00

場所：東京国道事務所 会議室

### 【委員】(敬称略)

久保田 尚(埼玉大学教授) ※Web参加

濱野 周泰(東京農業大学客員教授)

山田 利博(東京大学教授)

石井 匡志((一般社団法人)街路樹診断協会 技術委員長)

卯之原 昇((一般社団法人)日本造園建設業協会 業務執行理事)

大石 智弘(国土技術政策総合研究所 社会資本マネジメント研究センター  
緑化生態研究室長)

福本 充(国土交通省関東地方整備局 東京国道事務所 所長)

・オブザーバー

小澤 知幸(国土交通省関東地方整備局 道路部 道路管理課 課長)

※代理出席 香田課長補佐

### ■規約の改正・オブザーバーの追加

○規約の改正案について、委員会の承認を頂いた。

### ■議事概要

○適正な剪定手法は、剪定時期、対象樹木の樹齢等によって異なるため、枝抜き・透かし以外も含め、街路樹維持管理マニュアルに適正な剪定手法を記載した方が良い。

○根上り再発防止策の検討にあたっては、資料に提示された方法以外についても確認すべき。

○工事による根切り時の立会は、樹木医だけでなく造園技術者でも指導が出来ると思われるので、造園技術者も含めて検討してほしい。

○根切りについては、その視点や対策などチェック出来るものがあると良い。

○根切りの対応については、占用工事においても事業者にも周知・指導すること

が重要である。

○点検カルテの電子化・データベース化は、位置情報の付加等による他のデータとの連携なども含めこの機会に整理していくと良い。

○点検マニュアルの危険度ランクについて、診断者が迷わないような説明の記載が必要。

○維持管理計画書の更新については、樹木管理に関連した部分以外についても順次必要に応じて更新してはどうか。

○樹体の揺れについては数値化した基準が設定できることが望ましいが、現状では指針を出すことは困難であるため、根元の緩みや揺れに注意するなど記載しても良い。

○周知ルールの整理は診断ランクともリンクをさせた方が良い。

## (2) 今後の予定について

- ・ 次回は 12 月頃を予定する。

今回の意見を踏まえ、本日提示した資料を再整理したものに加え、街路樹管理マニュアルについて作成し提示する。

以上